

事業実績書

事業名	子育てママの「食」応援プロジェクト	
場所	沼津市 大岡 地内他	
期間	平成29年 7月 1日 ~ 平成30年 2月28日	
	日程	実施項目・作業項目
事業内容		<p>※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。</p> <p>イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。 (打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など)</p> <p>「食」の困りごとお助け隊 メール・電話による栄養相談 メール(14件) 電話(13件) ライン(79件) 栄養士1名×栄養相談27件(ラインは含まず) 離乳食・幼児食のスタジオレッスン(栄養士1名×6回利用者13組) 8/11 9/29 10/3 10/5 10/19 11/5 離乳食の訪問指導(栄養士1名×2回利用者5組) 8/29 9/21 市内地区センターでの栄養相談(栄養士1名×5回) 9/6 9/8 9/21 9/22 10/24 民間託児所での食育講座(栄養士1名×1回) 11/6 静岡県子ども未来課主催「ふじさんっこフェスタ」のブース出展及びステージ発表(栄養士2名×1日) 11/10 親子で参加するワークショップの開催(自宅にて) 栄養士1名×1回 7/29 ママデイサービスの実施(万葉の湯にて) 保健師×1名 栄養士×1名 ヨガインストラクター×1名 託児スタッフ×3名 託児お手伝い×2名 1/19</p>
	事業効果	<p>※ 事業の効果を記載してください。</p> <p>電話やメールでの相談件数は、30件を超え、一度ご相談を受けたあとも、何度かやり取りをしながら、アドバイスを続け解決策を見つけ出していった。食事作りに関してはスタジオレッスンを希望される方が多く、同じ月齢数の赤ちゃんたちを集めてのレッスンを開催した。離乳食や幼児食の悩みは、「少食、偏食、遊び食べ、よく噛まないで食べる」などひとりひとり違いがあり、特に乳幼児期は個人差が大きいため、個々への対応の必要性を感じた。子どもの成長とともに悩みも変化するため、市の健診時だけではそのすべてのご相談に対応しきれない部分を感じた。ママたちにとって、食の悩みは小さなことでも深刻で、同じ悩みを持つ保護者同士の交流や、子育て経験者から話を聞くことが、解決の糸口に繋がったと思う。市民にとっては保健センターの敷居が高く感じられる方も多いようで、「食」の不安に対する相談体制は、現在ニーズに対応しきれない状況であると考えらる。もっと気軽に悩みを打ち明けられる場を提供するという方法で、今回メールでの相談方法を取ったことや、小さなスタジオで少人数でレッスンを受けることで、個々の相談内容に丁寧にでき、ゆっくり話ができる時間と場所を提供できたことが、行政では手の届かないところではなかったのかと思う。</p> <p>ママデイサービスの参加者アンケートでは、「出産後初めて温泉に入ることができた。久しぶりにゆっくり食事をすることができた。ママ同士の交流ができ、たくさん育児</p>

	<p>の話をする事ができた。リフレッシュできたので、またあしたから育児をがんばろうと思った。」などのご感想をいただき、利用者全員がまた利用したいと回答した。</p>
<p>今後の活動予定</p>	<p>①「食」の困りごとお助け隊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話・メールによる栄養相談 ・ 離乳食・幼児食のスタジオレッスン・訪問指導 ・ 地区センター・子育て支援センターでの栄養講話および栄養指導 <p>(昨年度と同様に、随時相談を受け、継続して栄養指導を行う。)</p> <p>②ママデイサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 育児相談・栄養相談・骨盤ストレッチ・食事・入浴・休憩 (赤ちゃんの託児) <p>(ニーズが高かったため、4～2月まで月に1回開催する。)</p> <p>③親子で楽しめるワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 趣味の時間と食事の提供 <p>(子育ての中で必要な知識を高めたり、趣味を楽しむ時間を提供し、簡単な食事も提供して利用者の交流をはかる。)</p>
<p>自己評価</p>	<p>子育て中の保護者にとって、悩み事をすぐに解決できる場所は常に必要とされており、ゆっくり話を聞くことができる体制作りがいかに大切かを実感した。気軽な栄養相談の窓口を作ることで、小さな悩みをひとつひとつ解決し、育児中の保護者が一人で悩むことなく、健全な育児をしていくことに繋がったと思う。育児中の保護者の心や体のケアをできる場所と時間を提供できたことで、保護者のリフレッシュになり、また利用者同士の交流にも繋がった。利用者アンケートから開催してほんとうによかったと思えた。今後も子育て中の保護者の役に立つ事業を行っていきたいと思った。</p>